

新聞記事にみる賀川豊彦 (52)

1910 (明治43) 年~1963 (昭和38) 年 (神戸版)

第52回 「賀川記念館開館式」「学童の保育」

「賀川記念館開館式」

1963 (昭和38) 年4月12日
「神戸新聞」

一生を社会事業にささげた賀川豊彦を記念するために、神戸市兵合区青妻通五丁目に建設中の賀川記念館が完成、十三日午後二時から開館式を行なう。

記念館は鉄筋四階建て約千九百平方尺。賀川さんの遺品を保存する賀川先生記念室、働く母親にかわって子どもを育てる乳幼児保育センター、生活相談室、夜間保育所などが設けられ、日本の社会事業活動のメッカとなる。記念館の敷き地は往年のベストセラー「死線を越えて」の舞台で賀川さんがはじめてスラム街救済活動を始め

生まれぬ人の殿堂

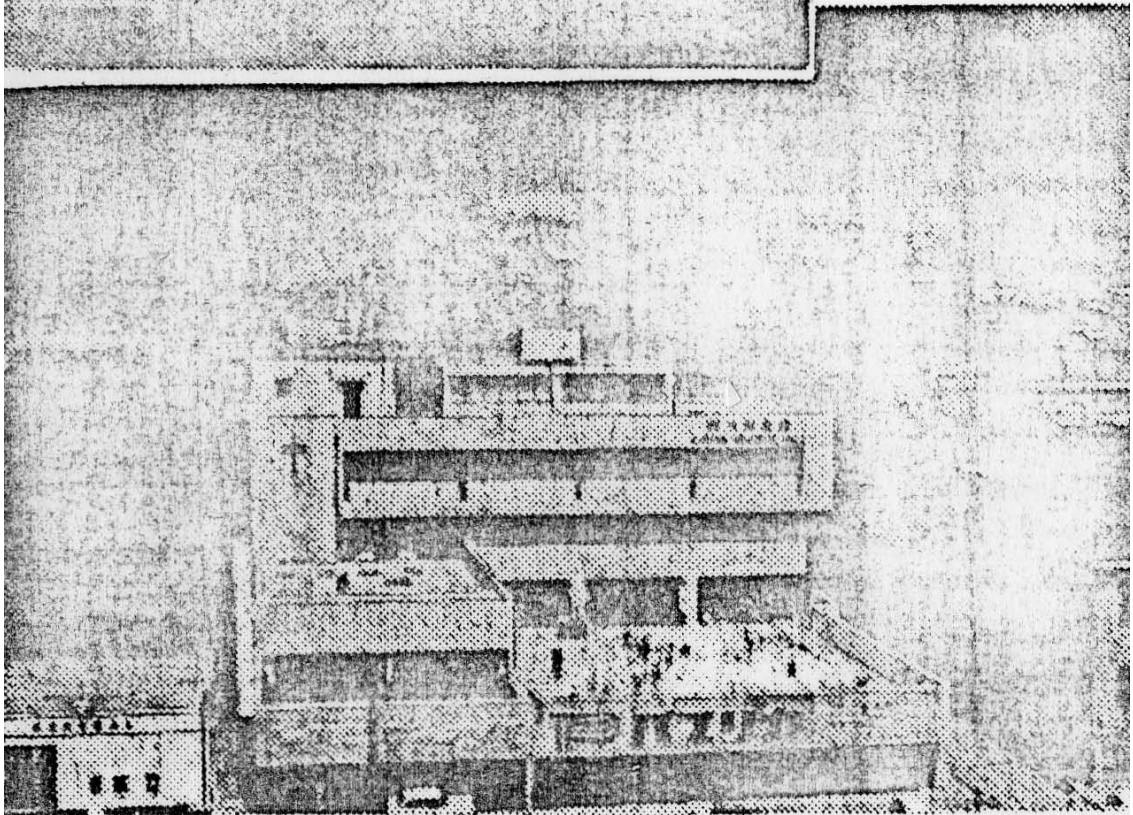
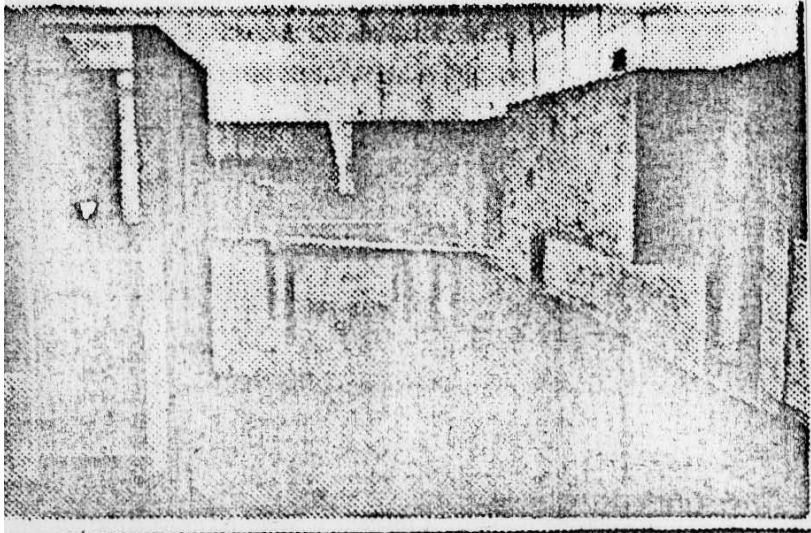
賀川記念館 あす開館式

たところだが、賀川氏と関係の深い関西学院大学社会学部でもこの記念館の活動を応援する。

建設費七千七百万円の大半は寄付金によったが、外国からの寄付金も多かった。また「賀川さんに世話になった」という貴しい人たちから百円、二百円と寄せられた

「貧者の一灯」もあった。中には五歳の子が貧しく働かなくては食べられなくなったので、日曜学校の先生をしていた賀川さんに相談すると、ヨシで張りの工場へあっせんでくれたりと涙を流す老婦人もあり、建設の中心になった賀川記念厚生事業団(阪本勝理事長)の人たちも、あらためて賀川さんの偉大さにくたれたという。

(写真は乳児センター①と賀川記念館の全景)



恵まれぬ人の殿堂

賀川記念館 あす開館式

一生を社会事業にささげた賀川豊彦を記念するために、神戸市葺合区吾妻通五丁目に建設中の賀川記念館が完成、十三日午後二時から開館式を行なう。

記念館は鉄筋四階建て約千九百平方メートル。賀川さんの遺品を保存する賀川先生記念室、働く母親にかわって子どもを育てる乳幼児保育センター、生活相談室、夜間保育所などが設けられ、日本の社会事業活動のメッカとなる。記念館の敷き地は往年のベストセラー「死線を越えて」の舞台で賀川さんがはじめてスラム街救済活動を始めたところだが、賀川氏と関係の深い関西学院大学社会学部でもこの記念館の活動を応援する。

建設費七千七百万円の大半は寄金によったが、外国からの寄付金も多かった。また「賀川さんに世話になった」という貧しい人たちから百円、二百円と寄せられた“貧者の一灯”もあった。中には五歳のとき家が貧しく働かなくては食べられなくなったので、日曜学校の先生をしていた賀川さんに相談すると、ヨシズ張りの工場へあっせんしてくれた一と涙を流す老婦人もあり、建設の中心になった賀川記念厚生事業団（阪本勝理事長）の人たちも、あらためて賀川さんの偉大さにうたれたという。（写真は乳児センター㊦と賀川記念館の全景）

「賀川記念館：学童の保育」

1963（昭和38）年6月4日「神戸新聞」

学童を対象に保育園

学生たちが奉仕
学習や生活の指導

賀川記念館

兵庫県が生んだ世界的な社会事業家、故賀川豊彦氏を記念してとし四月、神戸市灘台区吾妻通五に開設した社会福祉法人賀川記念館（村山盛嗣館長）は市とタイアップして三日、児童、生徒の保育園を開設した。これは布引中の非行少年問題がクローズアップされたとき、市と神戸市イエス教会の間で持ち上がったもので、小、中学生を対象にした「保育園」は全国で初めての試み。

小学校一年から三年までを初級、四年から六年までを中級とし、無償で教育、生活指導にあたりとあつて申し込み者は殺到、中学生をかくめて百九十人が入園し

た。時間は学校の終わった午後三時から五時までで、学習は一時間、残りはレクリエーションなどです。先生は、関西学院社会学部の三好哲也君（こら）学生三人、舞台厚生館の滝本芝洞さんら七人で

みな無料奉仕するという。同館ではこのほか、高校生や一般の人たちのために英会話、生け花、ペン習字なども月三百円から七百円で指導にあたる。

学童を対象に保育園

学生たちが奉仕 学習や生活の指導

賀川記念館

兵庫県が生んだ世界的な社会事業家、故賀川豊彦氏を記念してことし四月、神戸市葺合区吾妻通五に開館した社会福祉法人賀川記念館（村山盛嗣館長）は市とタイアップして三日、児童、生徒の保育園を開設した。これは布引中の非行少年問題がクローズアップされたとき、市と神戸市イエス教会の間で持ち上がったもので、小、中学生を対象にした“保育園”は全国で初めての試み。

小学校一年から三年までを初級、四年から六年までを中級とし、無償で教育、生活指導にあたりとあって申し込み者は殺到、中学生をふくめて百九十人が入園した。時間は学校の終わった午後三時から五時までで、学習は一時間、残りはレクリエーションなどです。先生は、関西学院社会学部の三好哲也君（二）ら学生三人、葺合厚生館の滝本芝洞さんら七人でみな無料奉仕するという。

同館ではこのほか、高校生や一般の人たちのために英会話、生け花、ペン習字なども月三百円から七百円で指導にあたる。



開園式で賛美歌を歌う子供たち―葺合区、賀川記念館で

（2011年4月25日記す。鳥飼慶陽）

開園式で讃美歌を歌う子供たち ― 葺合区、賀川記念館で。